



芸術書・人文書ご担当者御中 里山社・新刊 ツバメ出版流通取扱

⇒ご注文はツバメ出版流通まで

各紙で大反響！書評続々掲載！

里山社
SATOYAMA
SHA

FAX 03-3721-1922

お問い合わせ：川人（かわひと）TEL 03-6715-6121

HP www.tsubamebook.com

mail info@tsubamebook.com

⇒内容に関しては里山社（清田）まで

HP：www.satoyamasha.commail mail：kiyota@satoyamasha.com

TEL 044-712-4100 FAX 044-712-4104

『ジェンダー写真論 1991-2017』

著：笠原美智子

ジェンダー写真論
1991-2017



笠原美智子

笠原美智子 展示で問い続け 30 年

（朝日新聞5月1日夕刊）

東京都写真美術館、東京都現代美術館で学芸員を歴任した笠原美智子は、ジェンダーやフェミニズムの視点から約30年にわたって展覧会を企画してきた。今年2月には「ジェンダー写真論1991-2017」(里山社)を出版。「女性の表象や老いや病といった題材は全て、私自身がどう生きるべきかという問題に直結するログイン前の続き。義務感ではなく、他人ごとではないと思ってやってきた」と話す。

笠原が東京都写真美術館で1991年に手がけたのが、女性によるセルフポートレートの展覧会。特に70年代以降、女性の社会的役割や表象のあり方に違和感を抱き、問い直そうとする女性写真家が現れたことを伝えた。

これは日本でフェミニズムの視点から企画された展覧会の先駆けとされる。「日本の美術界に、そうした視点が導入されるのが遅かった」と笠原は言う。抑圧される側の民族や人種、性的少数者にまつわる表現。男性の理想が投影された伝統的な「ヌード」に疑問を投げかける、ありのままの裸体を捉えた写真たち……。そうした作品を扱った展覧会を企画し、図録に寄せた論考などを著作にまとめた。

「世界経済フォーラム」が昨年発表したランキングで、日本の男女格差（ジェンダーギャップ）の大きさは144カ国中114位。「今も日本の女性が置かれたポジションはひどい。そういう状況にしまっている世代に私もいる」としつつ、「あきらめないでやってみてくしかないのかなと思います」と話した。

3月末、事業企画課長を務めた都写真美術館を定年退職。4月から、石橋財団ブリヂストン美術館（東京都中央区）の副館長に就いた。（丸山ひかり）

アーティストが切実な思いに突き動かされてきたことを読み解いていく。著者の約30年の活動の軌跡ともいえる本書は圧巻だ。この世界を生きる男女、そして写真への愛しいまなざしに溢れている。「週刊ポスト」5/18号・与那原恵（ノンフィクション作家）

論及対象に安易に自己投影せず、キュレーションの権威のもとに支配せず、他者性と直面して当事者でないことを逡巡しながら、作品を丁寧に解きほぐしてきた。ジェンダー、フェミニズム論のその先を照らす灯のような一冊。「美術手帖」6月号・中島水緒（美術評論）

根底にあるのは女性やマイノリティが個人として自由に生きるために必要な社会条件が十分に整っていない日本の現状への怒り。（中略）巻末の『理想は孤独死』は著者が単身者として生きることの『幸運』を綴った。この一文こそ本書の肝「婦人公論」5/22 仲俣暁生

社会から見過ごされがちなの小さな声に耳を傾けようとする真摯な姿勢は、著者自らが経験してきた社会への違和感や個人的な葛藤に裏打ちされている。共同通信・竹内万里子（写真評論家）

装丁：服部一成、佐藤豊
本体価格 2,700 円 + 税
四六判 / 並製本
416 頁 + 口絵カラー 16 頁

解説と共に見る女性写真家のセルフポートレートの、何と雄弁なことか。自分を撮ることと他者を撮ることは、エッセイと小説の違いにも似ているような気がした。

3/22 「週刊文春」 酒井順子

『囚われの荒木』と題した荒木経惟論が収録されている。そこでは彼の特異性を認めながらも、『女性差別的でミソジニックな、ある年代以上の日本の男の典型的な視線が存在する』と指摘していた。「東京人」6月号 五十嵐太郎（建築史家）

その底に静かに根底的な問いが流れ続けているから、膨大な作家の多岐に渡る表現の驟然たる紹介に陥ることがない。作家たちの仕事も本書も共に、問うべきを問うた実にシンプルで実直な連なりである。4/6 「週刊読書人」日高優（写真評論家）

著者が表明する、当事者でない人間が他者を表現することへの葛藤と気遣いは、現代の人々が忘れてはいけない真摯な態度である。社会を変えてきた、それぞれの私的で政治的な闘いに胸が熱くなる。3/28 毎日新聞・松田青子（小説家）

書店印（番線）	『ジェンダー写真論 1991-2017』		ジェンダー関連既刊書籍も好評発売中！	
	四六判・並製 416 頁 + カラー 16 頁 本体価格 2,700 円 + 税		「プロレス少女伝説」「同性愛者たち」（第1集）、「十四歳」（第2集）など、90年代、「性」の周縁で生きる人々を「隣人」として瑞々しく描く傑作ノンフィクション！	
ご担当者様	ISBN：978-4-907497-07-1 C0072	『井田真木子著作撰集』 ISBN：978-4-907497-01-9 C0095	『井田真木子著作撰集 第2集』 ISBN：978-4-907497-02-6 C0095	本体価格 3,000 円 + 税 四六判 並製 576 頁
				本体価格 3,000 円 + 税 四六判 並製 592 頁

※ツバメ出版流通を通じて、すべての取次ルートに対応しています。返品常時可能（版元・清田了解済）も返品下さい。直取引は清田までお願いします。